

平成18年第1回定例会一般質問要旨

6月15日(木)	6月16日(金)	6月19日(月)	6月20日(火)
1 本間忠彰 (新生会)	7 三上優一 (相政会)	13 福士博嗣 (社会民主党)	19 小山内司 (弘友会)
2 藤田隆司 (社会民主党)	8 竹谷マツ子 (岩木会)	14 工藤良憲 (自由クラブ)	20 佐藤博人 (岩木会)
3 石田豪 (新生会)	9 宮本隆志 (弘友会)	15 工藤光志 (自由民主党)	21 谷川政人 (弘友会)
4 石田久 (日本共産党)	10 種澤武美 (桜城会)	16 一戸兼一 (弘友会)	22 三上昭博 (岩木会)
5 加藤とし子 (社会民主党)	11 石岡千鶴子 (新市政会)	17 齊藤爾 (岩木会)	23 山谷秀造 (公明・清友会)
6 越明男 (日本共産党)	12 松橋武史 (自由クラブ)	18 安藤晴美 (日本共産党)	

6月15日(木)

○ 本間忠彰議員

- 1 農政農業振興策について。
 - (1) 市長の農業振興策について。
 - (2) ポジティブリスト制度対策について。
 - (3) 安心安全なわけありりんごづくりについて。
 - (4) 気象情報伝達の全市一元化について。
 - (5) EMの農業活用について。
- 2 花いっぱい運動について。
 - (1) 岩木方式を全弘前市運動に活用できないか。
- 3 道路建設と電柱設置条例について。
 - (1) 新設道路に対する景観に配慮した電柱設置条例制定について。
 - (2) 歩道や通学路の除排雪時に附帯雪捨て場をつくれぬか。

○ 藤田隆司議員

- 1 国の三位一体改革による弘前市への影響と今後の本市財政の見通しについて。

- 2 新市建設計画の事業実施計画と地方自治法に基づく基本構想及び基本計画の策定について。
- 3 スポーツの振興について。
 - (1) 「スポレクあおもり2007」への弘前市の対応について。
 - (2) 通年生涯スポーツのできる施設の整備について。
- 4 農業の振興について。
 - (1) りんごの消費拡大、販売促進と農業と観光の連携強化の施策について。
- 5 地域間交流について。
- 6 市民が安心して暮らせるまちづくりについて。
 - (1) 防災行政無線統合整備事業について。
 - (2) 第一中学校地区に児童館機能を有した市民交流センターの整備について。
 - (3) 第三子出産についての助成金や分娩費の軽減を図ることについて。

○ 石田 豪 議員

- 1 弥生リゾート跡地について。
 - (1) 自然体験型拠点施設は完全に中止されたと理解するが。
 - ア ならば今後はどのようにするのか。
 - イ この問題の今後の処理について。
- 2 高照神社の宝物の保存について。
 - (1) 新博物館の建設は。
- 3 路上喫煙禁止条例制定について。
 - (1) 同条例の制定の考えは。
 - (2) 全国各地でどのくらい制定されているか。

○ 石田 久 議員

- 1 弘前市の救急医療についての市長の見解を問う。
 - (1) 救急医療「病院群輪番制」について。
 - (2) 病院群輪番制病院運営委託料について。
- 2 介護保険制度について。
 - (1) 介護保険料について。
 - (2) 昨年10月からのホテルコスト導入の影響について。
 - (3) 在宅サービスについて。
 - (4) 地域包括支援センターについて。
- 3 生活者重視のための施策の充実について。
 - (1) 妊婦健診の無料について。
 - (2) 乳幼児の入院時食事代の無料について。
 - (3) 中学校体育館への暖房設備の設置について。
 - (4) 市が行う健診について。

○ 加藤 とし子 議員

- 1 新市弘前市章制定について。
- 2 新市の人材育成の取り組みについて。
- 3 ごみ減量や資源化、地球温暖化防止などの環境行政について。
- 4 自殺対策について。
- 5 配偶者暴力相談支援センター設置について。

○ 越 明 男 議員

- 1 選挙公報に見る相馬市長の公約を問う。
 - (1) 「弥生自然体験型施設建設の中止」について。
 - (2) 「徹底した情報公開、市民参加型の市政運営」について。
 - (3) 「企業経営の視点による行財政改革」について。
- 2 津軽広域水道企業団で発生の水質悪化問題での市の見解を問う。
 - (1) 企業団と当市の連携について。
 - (2) 市の住民への対応について。
 - (3) 水質悪化の原因究明について。
- 3 「地域の農業の振興に関する地方公共団体の計画」(いわゆる27号計画)について。
 - (1) 市の27号計画策定に関するこれまでの経緯。
 - (2) 農振法に基づく27号計画の改正、見直しの議論について市の見解を問う。

6月16日(金)

○ 三上 優一 議員

- 1 新市長の政治姿勢を問う。
 - (1) 合併法定協議会を経て決定した「新市建設計画」の取り組みについて。
 - (2) 自然体験型拠点施設計画を中止し、「施設用地に植林し、自然の姿に戻す」と公約されているが決定の真意は。
 - (3) 初登庁のセレモニー企画はどこで計画され、要請など行ったものか。また、市長への表敬訪問者の人選基準などあるのか。
 - (4) 市長は、税理士事務所職務と両立していくのか。
 - (5) 「議会对策はしない」と明言され実行しているが、信念は今後も変わらないのか。

- 2 教育行政について。
- (1) 新弘前市の目指す教育方針は。
 - (2) 教育行政は画一的だけでなく、地域性も必要ではないか。
 - (3) 西部学校給食センターについて。
 - (4) 男児殺害事件など連続発生にかかわり今後の対策は。

- 3 農業政策について。
- (1) 農業振興を重点公約に掲げていたが具体的な政策内容は。
 - (2) 栽培面積日本一のりんご産業への取り組みは。
 - (3) 新農業規制が施行されたが行政の対策は。

○ 竹谷 マツ子 議員

- 1 総務行政について。
- (1) 先般の市長選挙の選挙開票事務の公正中立性について。
 - (2) 来年の市議会議員の選挙開票事務のあり方について。
- 2 農業行政について。
- (1) グリーン・ツーリズムの振興について。

○ 宮本 隆志 議員

- 1 教育立市宣言について。
- 2 岩木川左岸環状線建設について。
- 3 河川公園の整備について。
- 4 新鳴瀬橋の維持管理について。

○ 種澤 武美 議員

- 1 米政策改革推進対策、品目横断的経営安定対策、農地、水、環境向上対策を柱とした新農業基本法の運用について。
- (1) 現在までの状況とその反応はどうか。
 - (2) 今後の対応とその概要について。
 - (3) 関係条例等の制定について。
- 2 限界が予見される集落について。
- (1) 農業センサス等統計調査の結果から推して、集落としての機能が困難と推量されるところがないか。

- 3 総合的活動の基盤をなす鉄道本線の複線化、新幹線、高速道路、飛行場、港湾への交通機関等社会資本の整備を概括した構想について。

- (1) 社会、経済、文化交流の機能を高めるために必要ではないか。
- (2) 自然と歴史、文物をもって「市丸ごと博物館」構想と並行して考えることについて。
- (3) 農林産物の集散機能を高め地方における優位性の確保を図ることについて。
- (4) 津軽地方の中核都市としての位置づけにふさわしい立地条件の整備を図ることについて。

○ 石岡 千鶴子 議員

- 1 農業行政について。
- (1) 平成17年度後沢地区第一工区災害復旧工事について。
 - ア 経過について。
 - イ 工法に問題はなかったのか。
 - ウ 工期は適切だったのか。
 - エ 工事を請け負った業者に問題はなかったのか。
 - (2) ポジティブリスト制度について。
 - ア 法律施行になった経過について。
 - イ 法律制定に当たり生産者にどのように広報してきたか。
 - ウ 行政としての今後の対応は。
- 2 教育行政について。
- (1) 総合型地域スポーツクラブについて。
 - ア スポーツ少年団の問題と課題。
 - イ 中学校の部活動における問題と課題。
 - ウ 弘前市型の総合型地域スポーツクラブとはどのように考えているのか。
 - (2) 低学年の性教育について。
- 3 国の「三位一体」改革による本市における影響。

- 松橋 武史 議員
- 1 市長、助役、収入役及び水道事業管理者の給与等について。
- 2 フリーゲージトレインについて。
- 3 ハザードマップ等について。
- 4 あどの祭りについて。

6月19日(月)

- 福土 博嗣 議員
- 1 福祉政策について。
 - (1) 少子化対策について。
 - (2) 障害者自立支援法にかかわる市の対応について。
- 2 教育行政について。
 - (1) 小学校における英語教育について。
 - (2) 小学児童の登下校時における防犯対策について。
- 3 商工業の振興について。
 - (1) 商店街活性化事業の概要と目的について。
 - (2) 企業立地促進事業の概要と目的について。
 - (3) 食料特区活用支援事業の概要と目的について。
- 4 新市における投票所の設置について。

- 工藤 良憲 議員
- 1 農業の振興について。
 - (1) 農家の豊かな暮らしの方策を示せ。
 - ア りんご生産農家について。
 - イ 米生産農家について。
 - ウ 施設園芸農家について。
 - エ 畜産農家について。

- 工藤 光志 議員
- 1 相馬新市長の選挙公約と具体的施策について。
 - (1) 経済の振興策について。
 - ア 公約として掲げた「農業を市の基本産業と位置づけ積極的振興」のための具体的施策について。
 - (ア) 本予算編成に当たり特に意を配した施策は何か。

- (イ) 「平成12年弘前市農林業計画」は大幅に見直すのか。
- (ウ) ポジティブリスト制度への対応について。
- (エ) 転作絡みの「品目横断的経営安定対策」に対応した認定農業者や集落営農の現状と対策について。
- (オ) 農業後継者の育成対策について。
- (カ) 農業後継者の花嫁花婿対策について。
- (キ) 農業が本市経済に対する経済効果について(中心市街地商店街)。
- (2) 教育環境の充実について。
 - ア 児童の学習環境及び安全の確保について。
- (3) 観光、文化の振興について。
 - ア 新幹線から在来線へ乗り入れるフリーゲージトレインの誘致について。

- 一戸 兼一 議員
- 1 大型施設について。
 - (1) 弥生リゾート跡地について。
 - (2) 星と森のロマンピア、岩木山総合公園、岩木山百沢スキー場の活用について。
 - (3) 西部学校給食センターの建設等について。
- 2 総合計画の作成について。
 - (1) スケジュール等について。
 - (2) 所得向上に向けての施策等について。
 - (3) 全国的規模の大会等の招致への施策等について。
 - (4) 企業誘致への施策等について。

○ 齊 藤 爾 議 員

- 1 組合施行による土地区画整理事業と新市建設計画との整合性について。
 - (1) (仮称)駒越地区土地区画整理事業について。
 - ア 土地区画整理事業実施区域の決定。
 - イ 平成19年度国庫補助概算要望。
 - (2) 新市建設計画と上記事業との整合性について。
 - ア 建設計画及び財政計画における当該事業の位置づけ。
- 2 医療費の推移と削減策について。
 - (1) 医療費の推移。
 - ア 弘前市における医療費及び薬剤費の推移。
 - イ 上記費用の今後の見通し。
 - (2) 医療費の削減。
 - ア これまでの施策とその効果。
 - イ 後発医薬品(ジェネリック)普及・促進による医療費削減。
 - ウ 市立病院における後発医薬品の処方実績及び促進。

○ 安 藤 晴 美 議 員

- 1 農業振興重視についての市長の見解を求める。
- 2 障害者自立支援法について。
 - (1) 障害者と施設への影響について。
 - (2) 自治体の独自助成の考えについて。
 - (3) 制度改善に向けた国への働きかけについて。
- 3 学校給食について。
 - (1) 小中学校の完全給食の基本的な考え方について。
 - (2) 西部学校給食センター建設について。
 - (3) 旧相馬・岩木地区の自校式給食の充実と存続について。
- 4 弘前公園有料化問題について。
 - (1) 60歳以上の無料化について。
 - (2) 有料化見直しについて。

6月20日(火)

○ 小山内 司 議 員

- 1 教育行政について。
 - (1) 今後大量に採用される若手教員の指導力向上の施策について。
 - (2) 学校管理者としての研さんについて。
- 2 消防行政について。
 - (1) 急増する救急業務に対応する職員の育成、配置について。
 - (2) 住宅用火災警報器の設置について。

○ 佐 藤 博 人 議 員

- 1 新市におけるIT化について。
 - (1) 地域性によるサービス格差の解消について。
 - (2) 公共ネットワーク網(イントラネット)の進捗状況は。
- 2 市税納付維持について。
 - (1) 納税貯蓄組合への加入者と未加入者への取り扱いについて。
 - (2) 今後の納税貯蓄組合の対応(優遇措置)は？

○ 谷 川 政 人 議 員

- 1 団塊世代への戦略的政策展開について。
- 2 工業団地の現状と今後について。
- 3 教育行政について。
 - (1) 新教育長の教育行政への取り組み姿勢と意気込みについて。

○ 三 上 昭 博 議 員

- 1 行政・財政改革について。
 - (1) 行政改革について。
 - ア 経費節減合理化と節減チェック機関の設置を。
 - (2) 財政改革について。
 - ア 第1次産業(農業所得)向上の施策を問う。

- 2 商工行政について。
 - (1) 岩木山百沢スキー場運営について。
 - ア スキー場運営は財政的にも重荷であるが市民の冬季間の健康増進のためにぜひ継続を望む。
- 3 消防行政について。
 - (1) 弘前地区消防事務組合弘前消防署西分署の改築について。
 - ア 老朽化と手狭のため早期改築を望む(建設計画があるか)。

○ 山 谷 秀 造 議 員

- 1 相馬市長の政治姿勢について。
 - (1) 旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村の一体的なまちづくりの取り組みについて。
 - (2) 農業振興の取り組みについて。
 - (3) 観光振興の取り組みについて。
 - (4) 友好、姉妹都市の取り組みについて。
- 2 文化芸術振興の取り組みについて。
 - (1) 文化芸術に親しむ機会の環境づくりについて。
 - (2) 文化芸術における人材育成の取り組みについて。